

# 2025

RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST



「予土線の旅」 武吉孝夫（高知県）  
 稲穂の色付く町から  
 栗と椎茸の村を西に向かう  
 県境を越えようと  
 温暖なみかんの里に出た  
 河内晩柑と温州蜜柑を  
 重いほど買いこんで  
 じゃこ天と鯛飯を食べた  
 いつもは車の日帰り旅だが  
 のんびり鈍行の列車旅  
 見えないものが見えてきて  
 聞こえないものが聞こえてくる  
 ゆるやかに流れるソウルの二日だった  
 予土線のたかたか八十キロメートルに  
 ご当地の味を探す面白さ  
 旅先の食には心もおどる  
 特別な記念日でなくても  
 日々の暮らしに乙張りつけて  
 風の流れを変えてみる

JR予土線・土佐大正・土佐昭和間

# September

2025 年 9 月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11